

（案）

第三次千曲市スポーツ推進基本計画

令和6年(2024年)〇〇月
千曲市教育委員会

～目 次～

第1章	第三次千曲市スポーツ推進基本計画の概要	1P
	1. 計画策定の趣旨	
	2. 計画の位置づけ	
	3. 計画の構成	
	4. 計画期間	
	5. 推進体制	
第2章	千曲市の現状と課題	3P
	1. スポーツの実施状況に関するアンケート	
	2. 小中学生のアンケート結果	
	3. 成人のアンケート結果	
	4. スポーツ推進事業	
	5. スポーツ団体の組織と活動	
	6. 社会体育施設と利用状況	
第3章	計画の基本的な考え方	21P
	1. 基本理念	
	2. スポーツの価値	
第4章	施策の展開	22P
	1. 計画の体系図	
	2. 基本目標	
	(1)子どものスポーツ活動の推進	
	(2)大人のスポーツ活動の推進	
	(3)高齢者のスポーツ活動の推進	
	(4)障がい者のスポーツ活動の推進	
	(5)競技力の向上	
	(6)スポーツを通じた地域づくり	
	3. 数値目標	
第5章	スポーツ施設・環境の整備と充実	31P
	1. 料金体系の見直し	
	2. 市民協働の推進	
	3. 施設の改修・設備の充実	
	4. 学校体育施設の有効活用	
	5. 指定管理者制度の導入	
	6. 新たな施設の建設	
	7. スポーツ施設の合理的な設置	

第1章 第三次千曲市スポーツ推進基本計画の概要

1. 計画策定の趣旨

国では、スポーツを通じ「国民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活」を営むことができるスポーツ立国の実現を使命として、平成27年10月にスポーツ庁を創設しました。平成29年3月には「第2期スポーツ基本計画」を策定し、スポーツ基本法に基づきスポーツ施策の総合的かつ計画的な推進を図ってきました。策定後5年が経過することから、計画の見直しを行い、令和4年3月に「第3期スポーツ基本計画」を策定しました。第2期計画の5年間は「する」「みる」「ささえる」の視点からスポーツ実施率の向上のほか経済、地域の活性化が図られてきましたが、第3期計画では、「つくる／はぐくむ」、「あつまり、ともに、つながる」、「誰もがアクセスできる」の3つの視点を新たに加え計画を推進することとしています。

また、長野県においても令和5年3月に「第3次長野県スポーツ推進計画」を策定し、「信州やまなみ国スポ、全障スポ」の開催、その後のスポーツ振興も見据えた新たな計画を策定しました。

千曲市では、平成31年4月に計画期間を10年間とした「第二次千曲市スポーツ推進基本計画」を策定し、これに基づき市のスポーツ振興施策を推進してきました。今年度、計画の中間年度を迎えることから、これまでの施策を検証するとともに、社会情勢の変化に対応した5年後の目指す姿と施策を示した「第三次千曲市スポーツ推進基本計画」を策定しました。

参考：スポーツ基本法におけるスポーツの定義

スポーツは、心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進、精神的な充足感の獲得、自律心その他の精神の涵（かん）養等のために個人又は集団で行われる運動競技その他の身体活動であり、今日、国民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む上で不可欠のもの

2. 計画の位置づけ

「第三次千曲市スポーツ推進基本計画」は「第3期スポーツ基本計画」及び「第3次長野県スポーツ推進計画」を参酌し、地方の実情に即したスポーツの推進に関する計画を定めるよう努めるものと規定された「地方スポーツ推進計画」です。

また、「第三次千曲市総合計画」（令和4年4月）及び「第二次千曲市教育振興基本計画（後期計画）」（令和6年3月）に掲げる基本目標のうち、スポーツ分野における施策を具体化するものとして位置付けています。

3. 計画の構成

- 第1章：第三次千曲市スポーツ推進基本計画の概要
(計画策定の趣旨、計画の位置づけ、構成を示します。)
- 第2章：千曲市の現状と課題
(現状と課題について示します)
- 第3章：計画の基本的な考え方
(計画の基本的な考え方とその背景を示します。)
- 第4章：施策の展開
(計画を推進する方策と目標を示します。)
- 第5章：スポーツ施設・環境の整備と充実
(スポーツ施設の整備等、ハード面の計画を示します。)

4. 計画期間

計画の期間は令和6年度（2024年度）から令和10年度（2028年度）までの5年間とします。

5. 推進体制

本計画は、教育機関、市関係課等、国・県の機関と連携・協力しながら施策を進めるとともに、※千曲市スポーツ振興懇話会において、策定後の事業実施状況や効果について評価、検証を行い、事業の推進を図ります。

※千曲市スポーツ振興懇話会

スポーツ振興の基本的方向性を定め、総合的かつ効果的に施策を推進するため、教育委員会が一定の任期を定め、スポーツ諸団体、学校、民間団体関係者等に委嘱し、千曲市のスポーツ振興のあり方等を検討し、教育委員会へ提言することを目的として組織される機関。

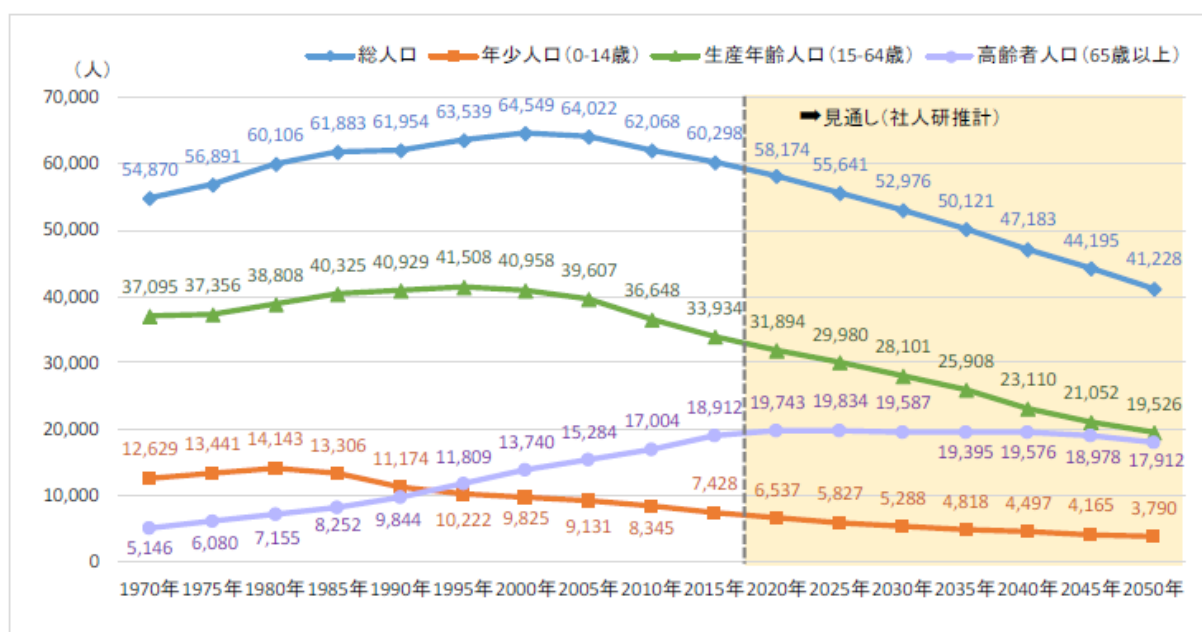
第2章 千曲市の現状と課題

千曲市の人口は、平成12年（2000年）の旧更埴市・戸倉、上山田町の合計人口64,549人をピークに減少を続けており、税収の落ち込みや社会資本の老朽化の進行が顕著になっています。

また、依然として続く物価高騰により、地域経済や市民生活に大きな影響を及ぼしています。

千曲市の最上位計画となる「第三次千曲市総合計画」に基づき、急激な人口減少下においても活力ある市とするため各種施策に取り組んでいます。

■ 区分別年齢人口の推移と将来推計



総務省統計局「国勢調査結果」より
2020年からは社人研「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」

スポーツに関しても時代の流れとともに変化しています。

子どもたちのスポーツに対する環境や意識も変化しており、実施率も減少傾向にあります。中学校の部活動においても、少子化や教員の働き方改革などを背景に地域移行の動きも本格化しており、地域のスポーツ団体等との連携がより一層重要になってきています。

スポーツを推進するにあたっての行政の責務として、市民のスポーツに対する志向を把握し、接するきっかけづくりを効率的に行うことが重要であるため小中学生、成人を対象にアンケート調査を実施し、課題に向けた施策に取り組めます。

1. スポーツの実施状況に関するアンケート

「第二次千曲市千曲市教育振興基本計画」（千曲っ子教育ビジョン）に基づき、市内小学4年生以上、中学生全学年を対象としたスポーツの実施状況に関するアンケートを5年に一度実施しています。

また、「第三次千曲市総合計画」に基づき、成人を対象としスポーツ実施状況に関するアンケート調査を実施しています。

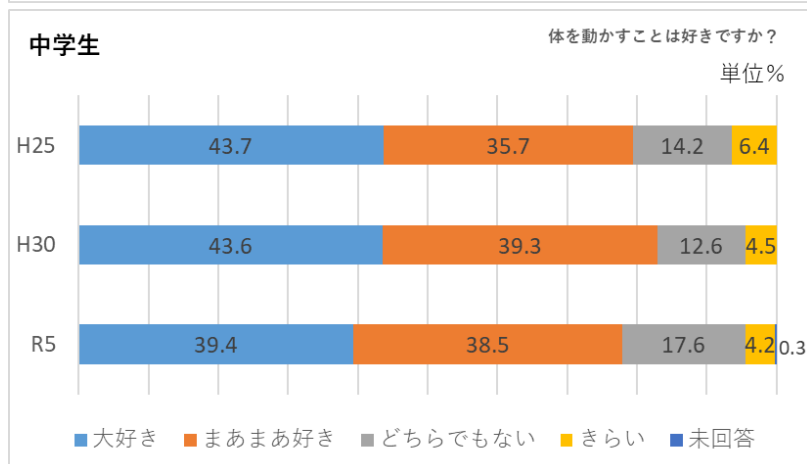
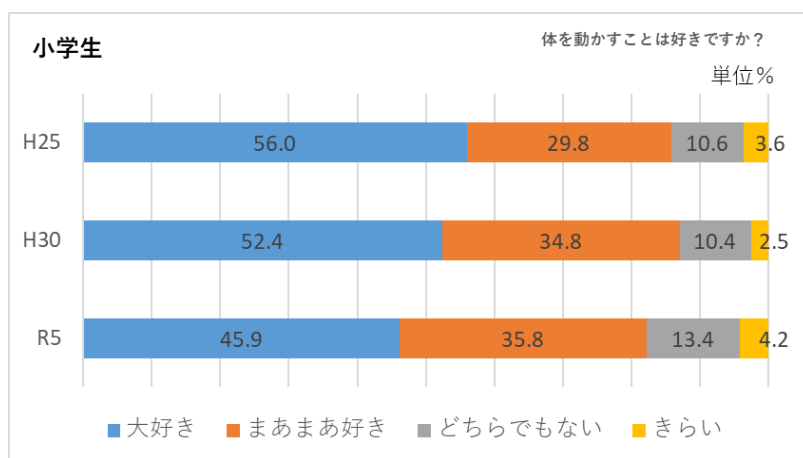
2. 小中学生のアンケート結果

実施対象・・・市内9小学校4～6学年・各学年1クラスを対象に実施

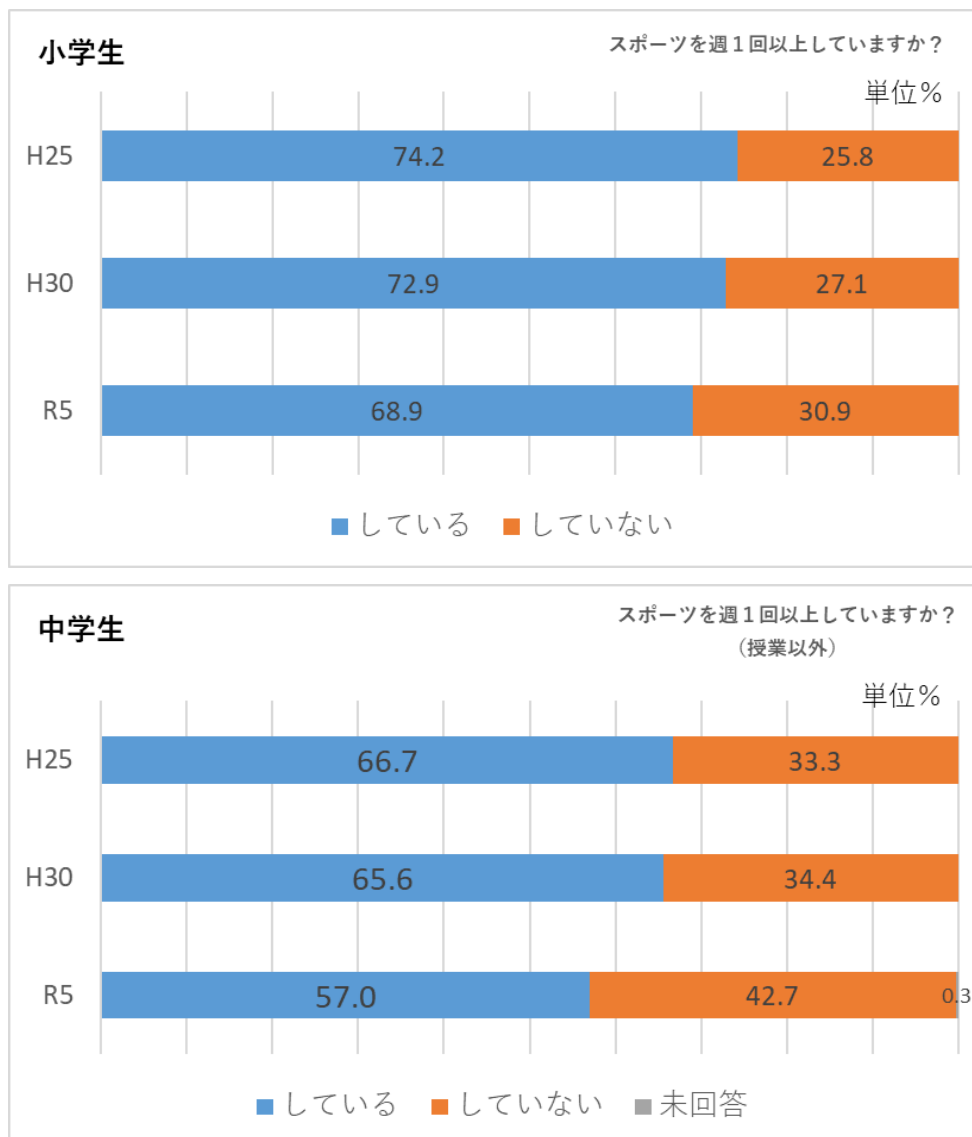
市内4中学校全学年・各学年1クラスを対象に実施

年度 対象	H25	H30	R5
小学生	738人	725人	695人
中学生	359人	374人	335人
合計	1,097人	1,099人	1,030人

① 体を動かすことは好きですか？

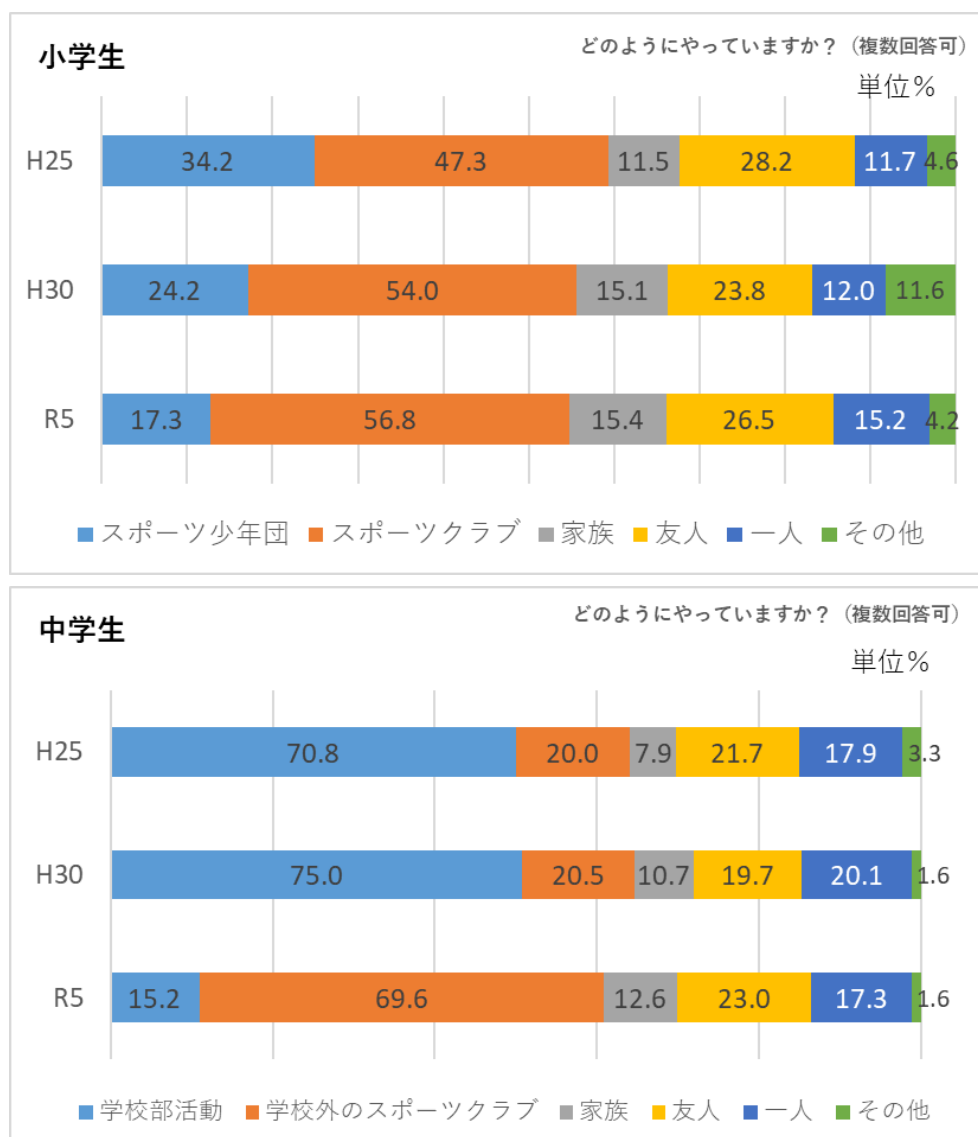


② 運動・スポーツを週1回以上していますか？（授業以外）



小中学生共に週1回以上スポーツをしている児童、生徒の割合は減少傾向になっています。令和2年から拡大した新型コロナウイルス感染症によるスポーツの実施機会の減少が少なからず影響していると考えられます。

③ どのようにしていますか？



小中学生ともに、部活動以外のクラブでスポーツをしている子どもの割合が増えています。

子どもの数が減少していることから、各学校単位での部活動としての活動が困難になってきていることも原因のひとつとして考えられます。

国が推進している部活動の地域移行にも千曲市・坂城町で設立した千曲坂城クラブとして先進的に取り組んでおり、今後より一層クラブの組織強化を図ることが必要です。

④どんなスポーツをしていますか？（上位5種目）

■小学生

年度 順位	H25		H30		R5	
1位	サッカー・フットサル	23.0%	水泳	19.7%	サッカー・フットサル	19.0%
2位	水泳	19.7%	サッカー・フットサル	18.2%	バスケットボール	13.8%
3位	野球	15.4%	バドミントン	13.6%	バドミントン	12.9%
4位	ハンドボール	10.1%	野球	11.0%	野球	10.9%
5位	バドミントン	9.6%	ハンドボール	11.0%	水泳	10.9%

■中学生

年度 順位	H25		H30		R5	
1位	バスケットボール	20.7%	バスケットボール	21.3%	バスケットボール	23.6%
2位	サッカー・フットサル	15.3%	サッカー・フットサル	18.1%	ハンドボール	16.2%
3位	ハンドボール	13.2%	ハンドボール	13.9%	サッカー・フットサル	15.2%
4位	野球	12.0%	野球	13.9%	バレーボール	11.5%
5位	バレーボール	11.2%	バレーボール	13.0%	野球	10.5%

⑤これからやってみたいスポーツはありますか？（上位5種目）

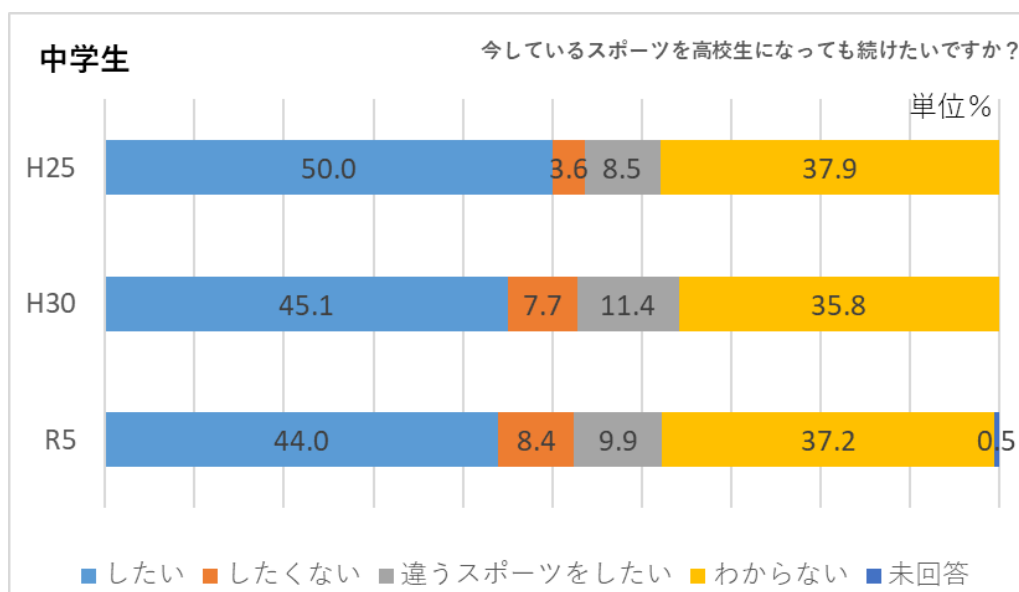
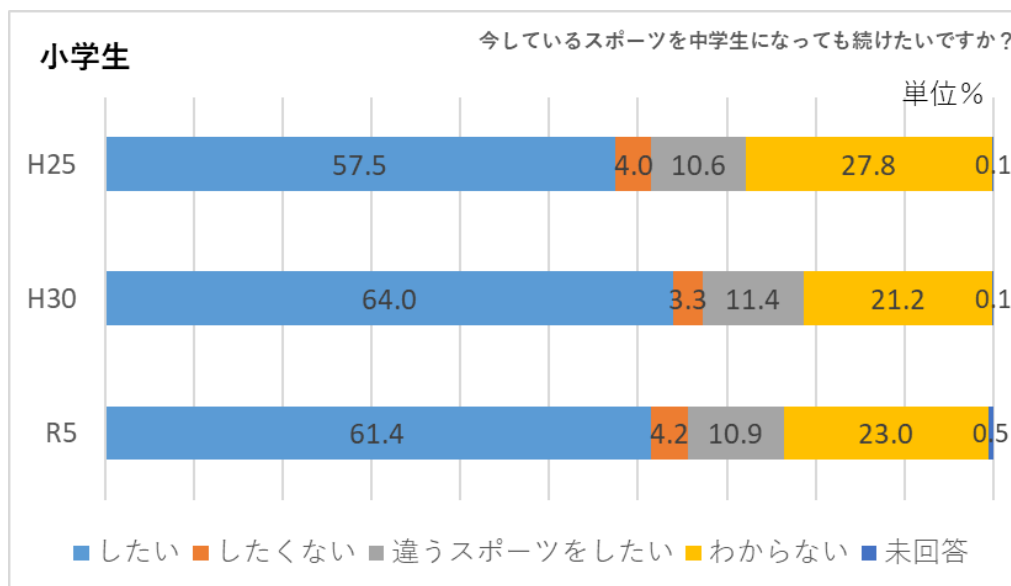
■小学生

年度 順位	H25		H30		R5	
1位	スキー・スノーボード	23.6%	バドミントン	22.9%	スキー	19.4%
2位	バドミントン	22.0%	卓球	19.0%	バドミントン	19.3%
3位	テニス	21.1%	スキー	16.8%	バスケットボール	14.4%
4位	スケート	19.8%	テニス	15.8%	バレーボール	12.4%
5位	野球	18.6%	バスケットボール	15.0%	ドッジボール	12.4%

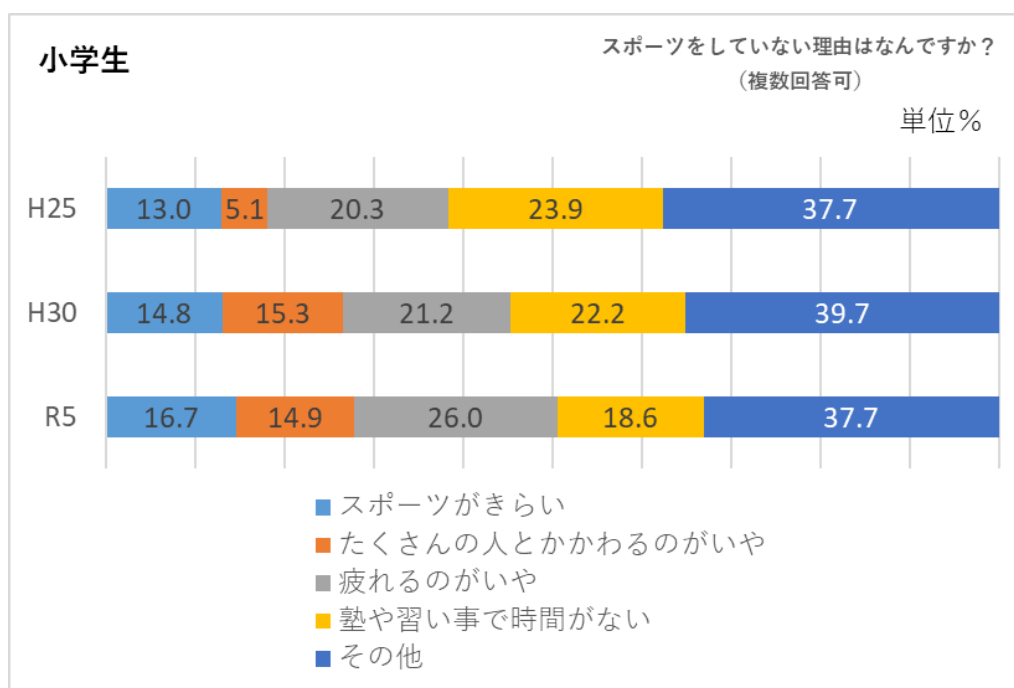
■中学生

年度 順位	H25		H30		R5	
1位	テニス	26.4%	バドミントン	49.1%	バドミントン	28.1%
2位	バドミントン	26.1%	テニス	28.6%	バレーボール	14.9%
3位	バスケットボール	21.5%	弓道	25.6%	テニス	12.8%
4位	弓道	21.2%	スノーボード	24.9%	スキー	11.0%
5位	スキー	15.0%	卓球	24.5%	卓球	10.7%

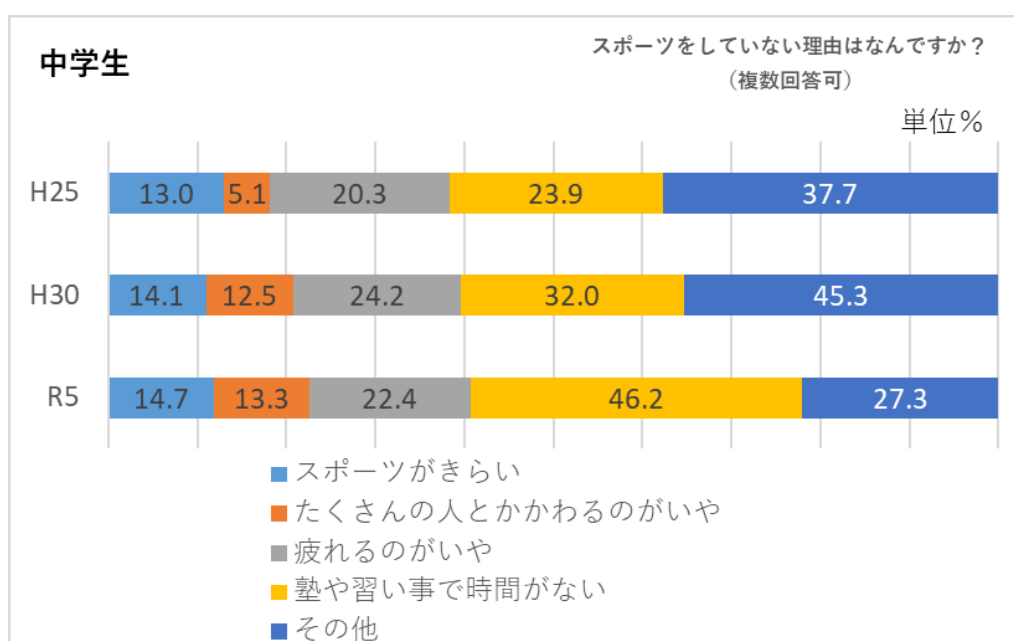
⑥今しているスポーツを中学生（高校生）になっても続けたいですか？



⑦運動・スポーツをしていない理由はなんですか？（複数回答可）

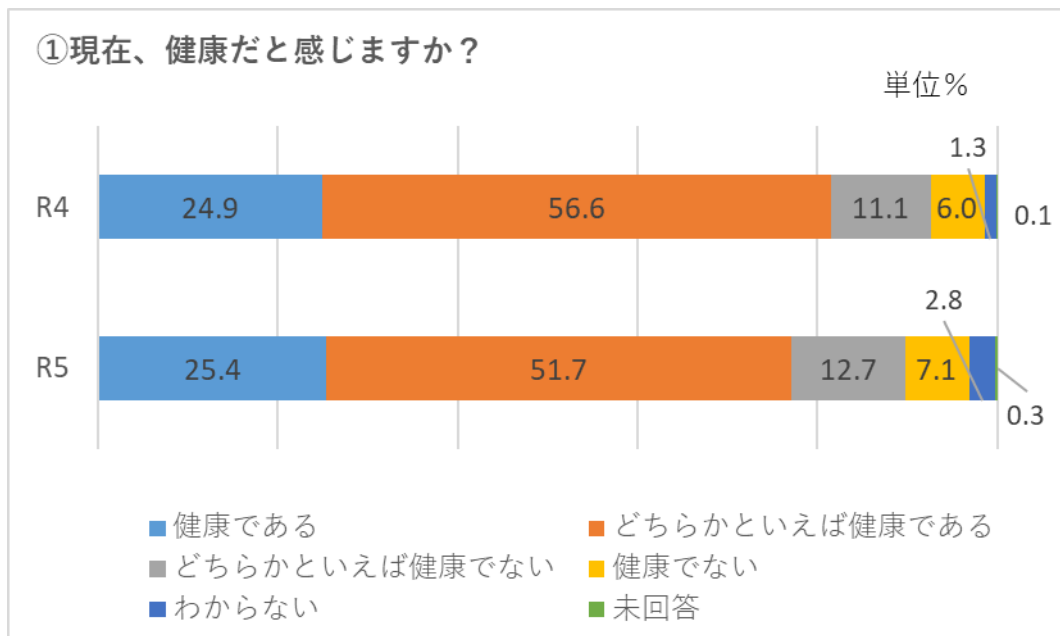
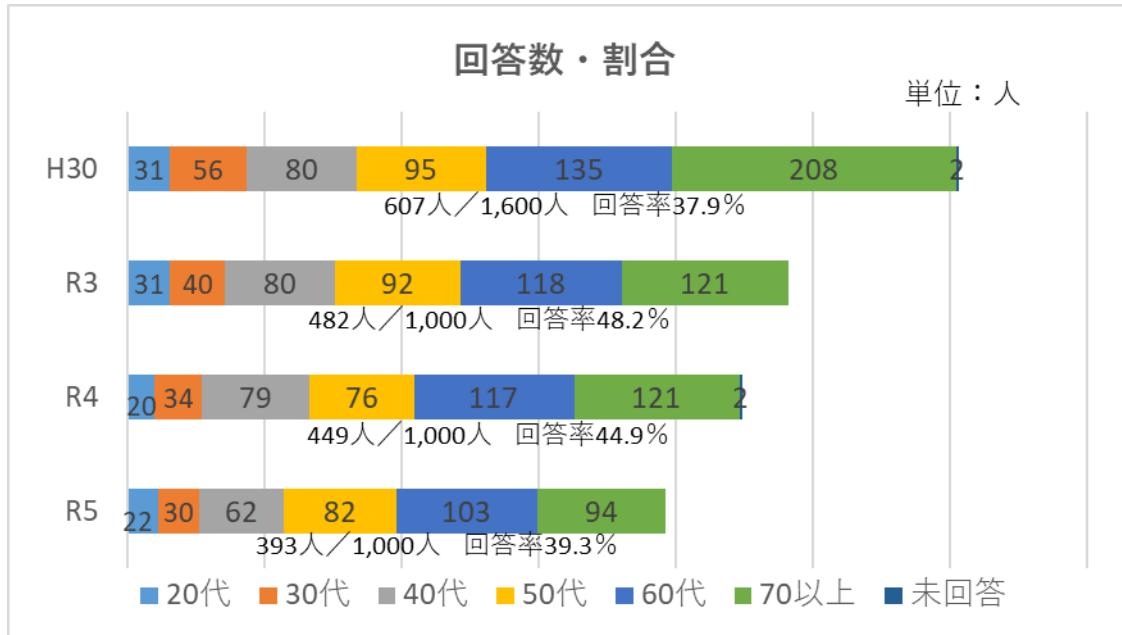


※「その他」で多い回答・・・面倒くさい、自分に合った種目がない等



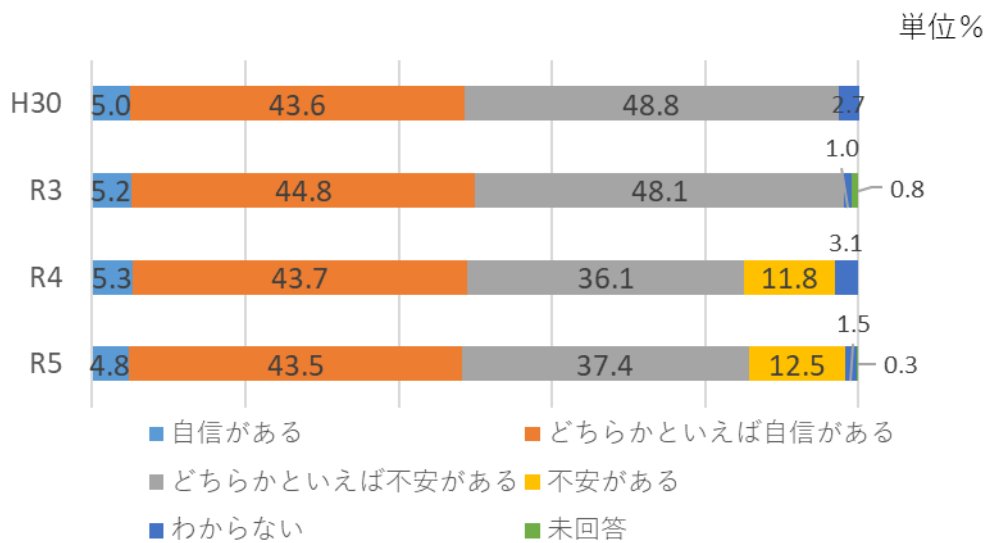
※「その他」で多い回答・・・面倒くさい、自分に合った種目がない、受験等

3. 成人のアンケート結果

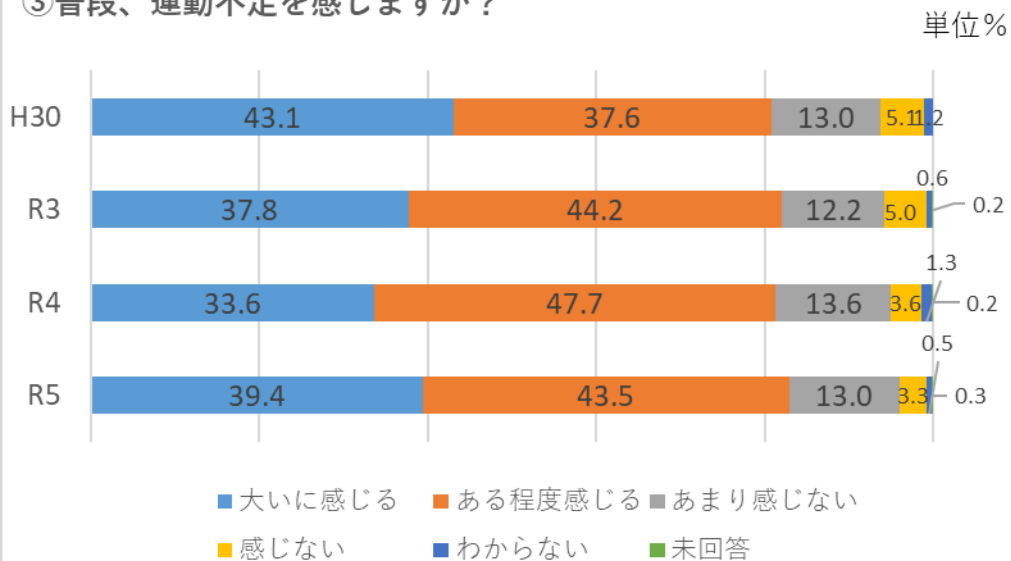


※令和4年度から新たに質問項目を設けたため、平成30年度、令和3年度はデータなし

②自身の体力について、どのように感じていますか？

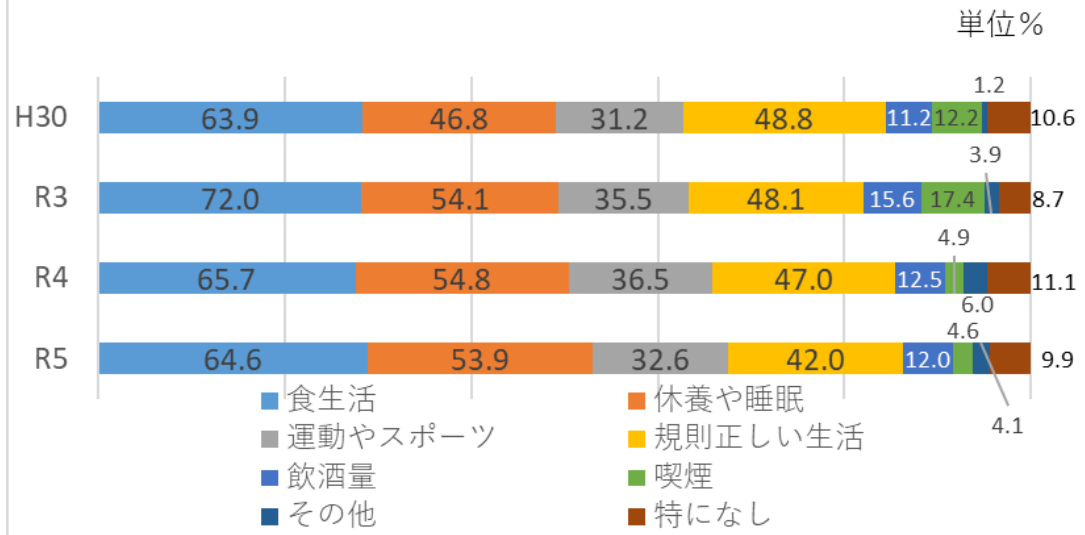


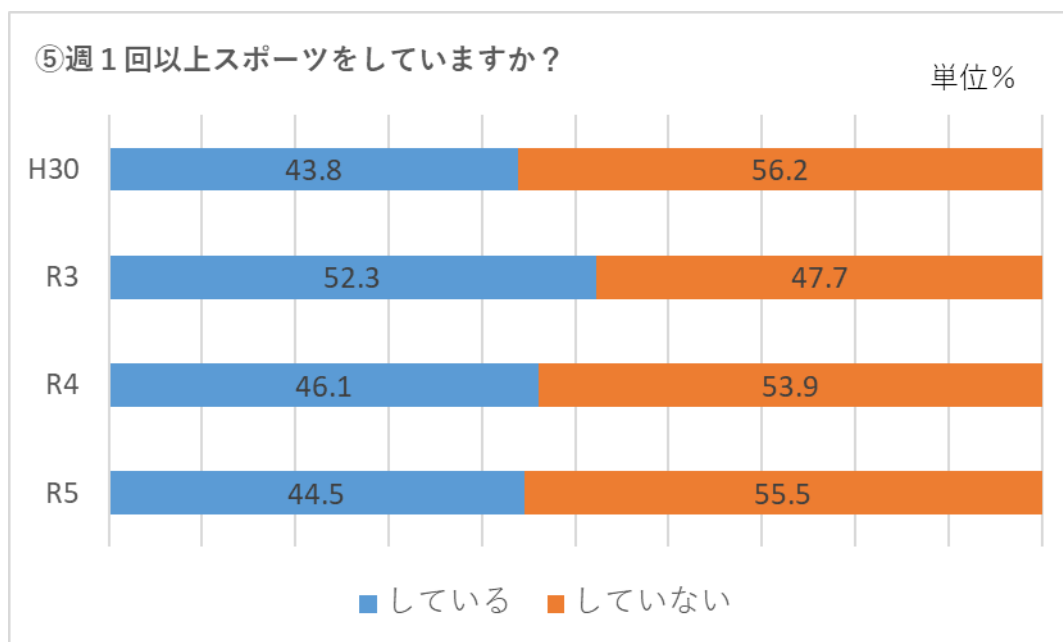
③普段、運動不足を感じますか？



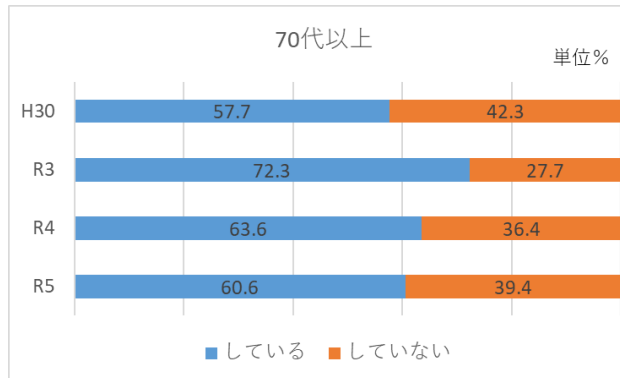
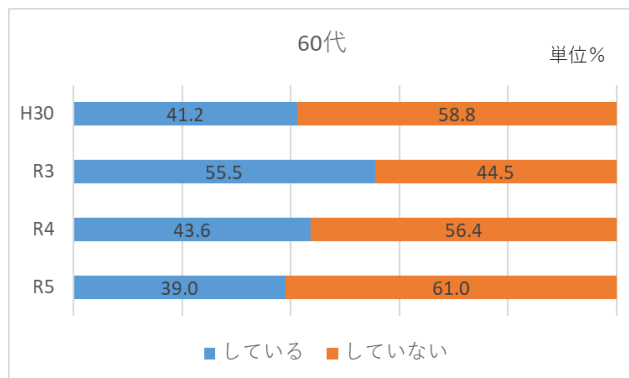
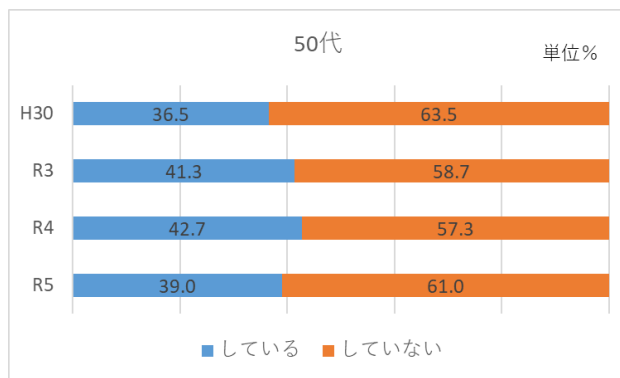
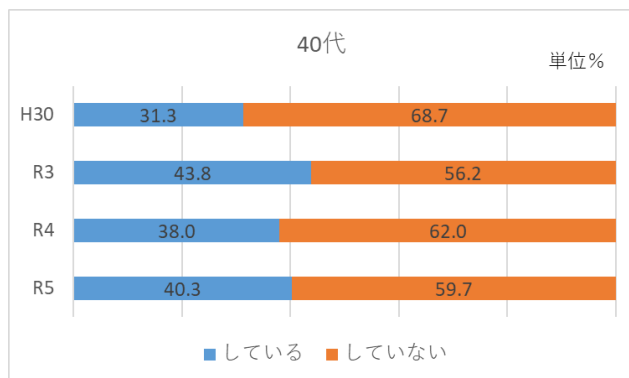
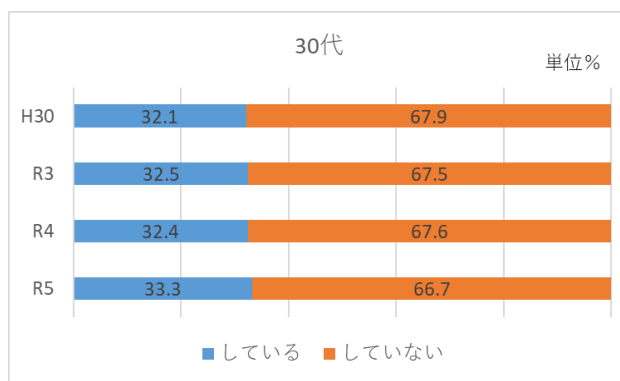
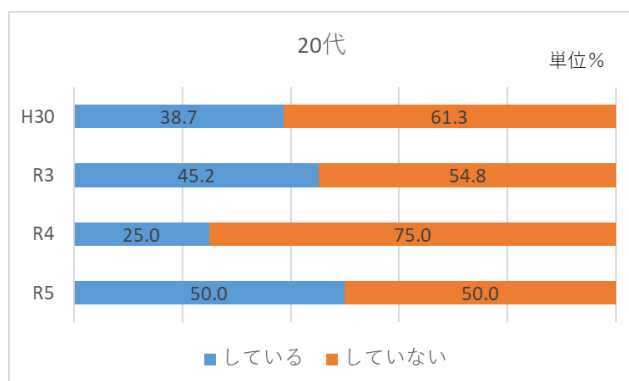
約 8 割の方は「健康である」または「どちらかといえば健康である」と認識していますが、約 5 割は体力に不安を持っており、8 割の方が運動不足を感じています。

④日頃、健康維持のためにどのようなことに注意していますか？





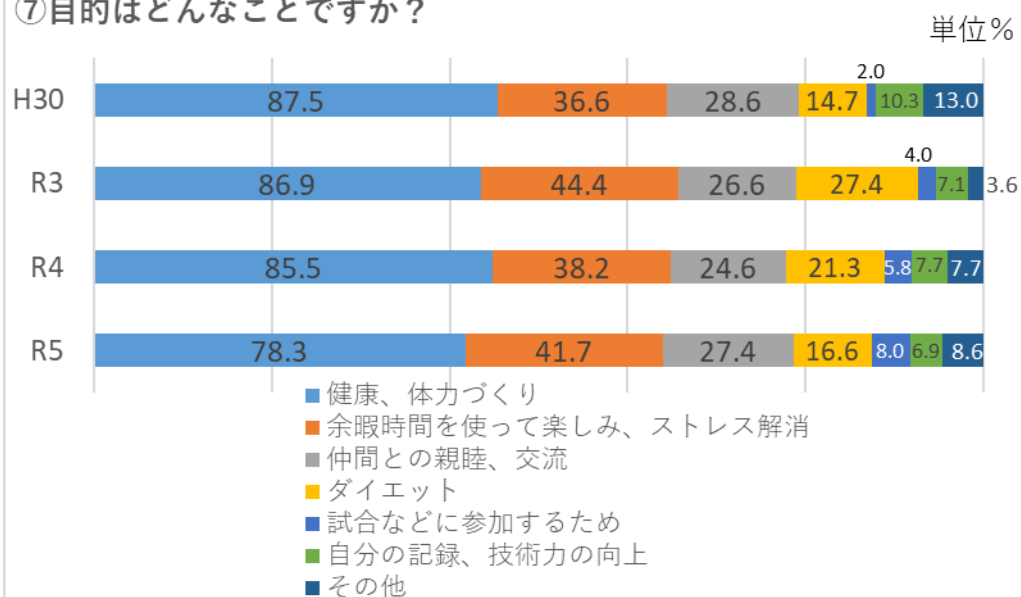
⑤ -2 各年代別のスポーツ実施状況（週1回以上）



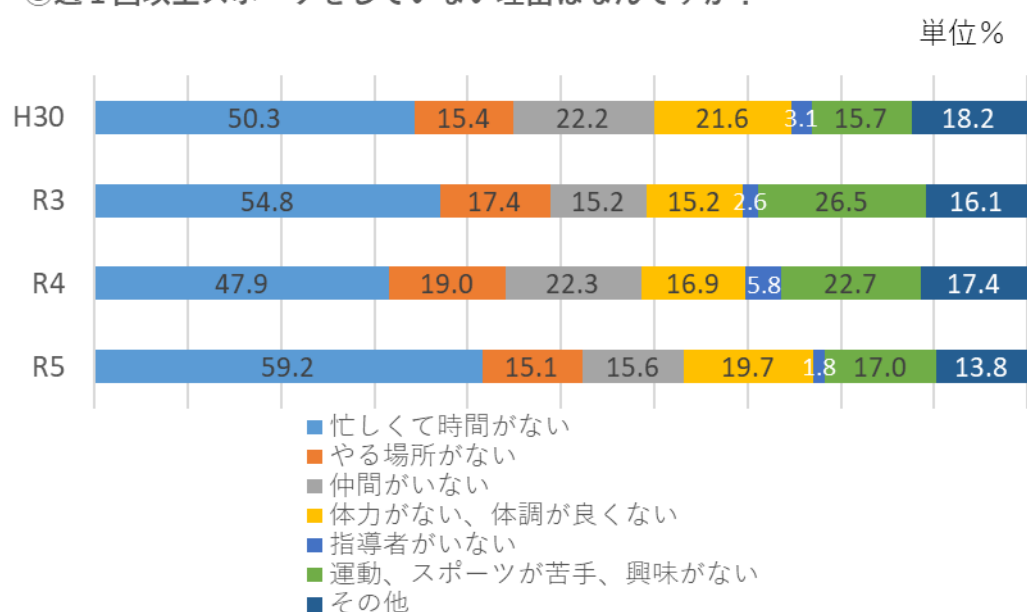
⑥ 実施している種目はなんですか？（上位5種目）

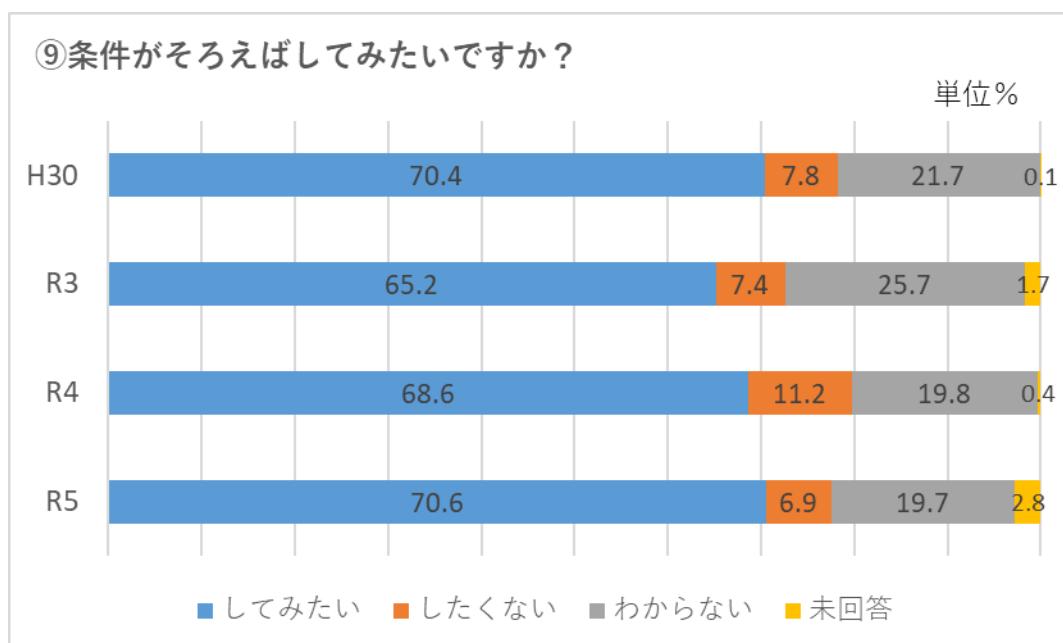
年度 順位	H30		R3		R4		R5	
1位	ウォーキング	57.8%	ウォーキング	53.6%	ウォーキング	58.9%	ウォーキング	51.4%
2位	体操	29.3%	筋トレ	23.0%	筋トレ	21.7%	筋トレ	20.6%
3位	筋トレ	23.4%	ジョギング	6.7%	体操	15.5%	ジョギング	10.3%
4位	ヨガ	22.8%	ゴルフ	4.8%	ゴルフ	8.7%	体操	8.0%
5位	水泳	16.5%	ヨガ	4.8%	マレットゴルフ	7.7%	マレットゴルフ	7.4%

⑦ 目的はどんなことですか？



⑧ 週1回以上スポーツをしていない理由はなんですか？





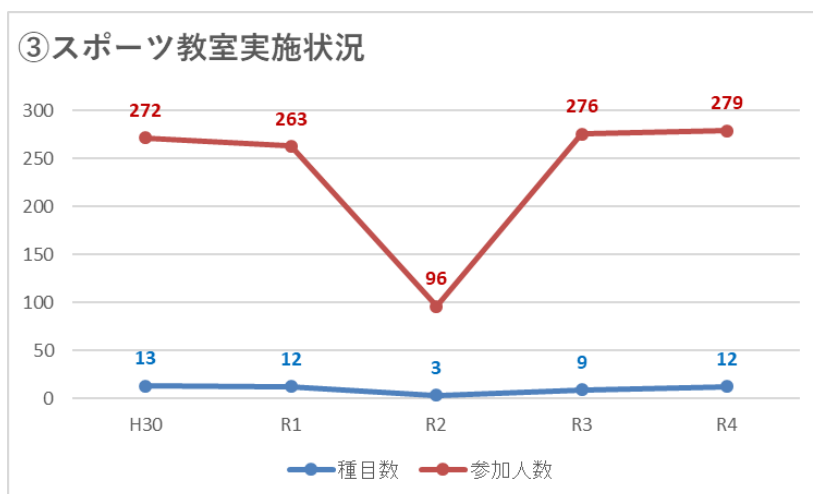
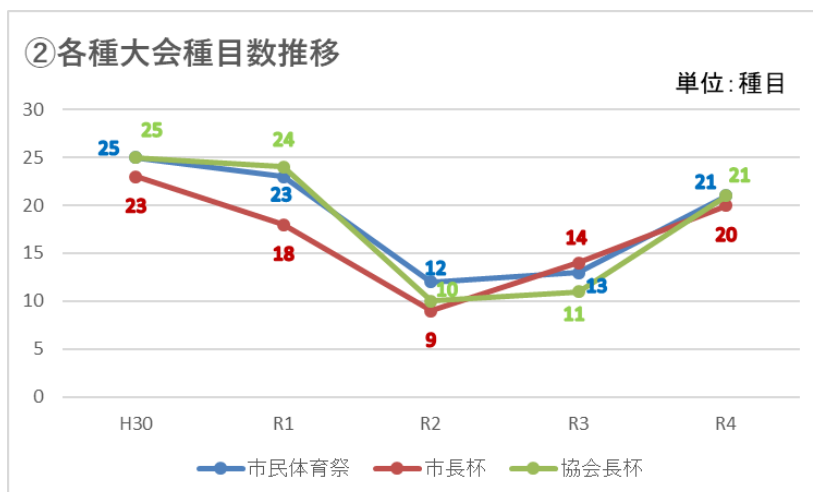
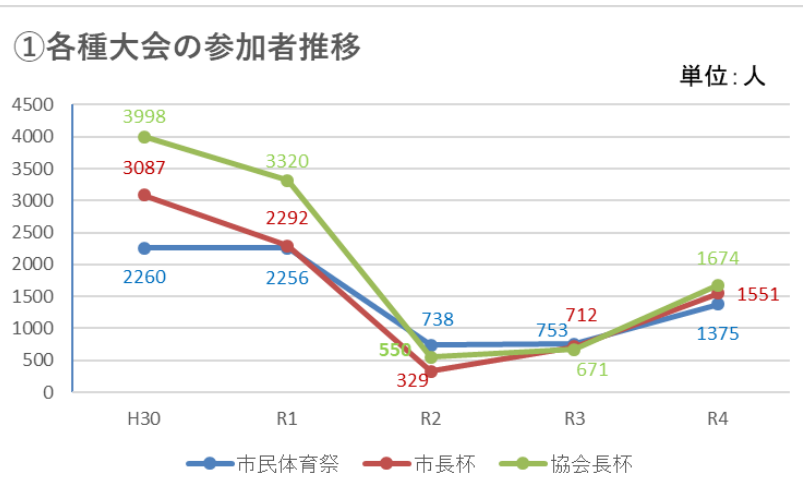
実施している種目は各年、ウォーキングが最も多くなっており、週1回以上スポーツをしている方の割合は、全体ではほぼ横ばいになっています。

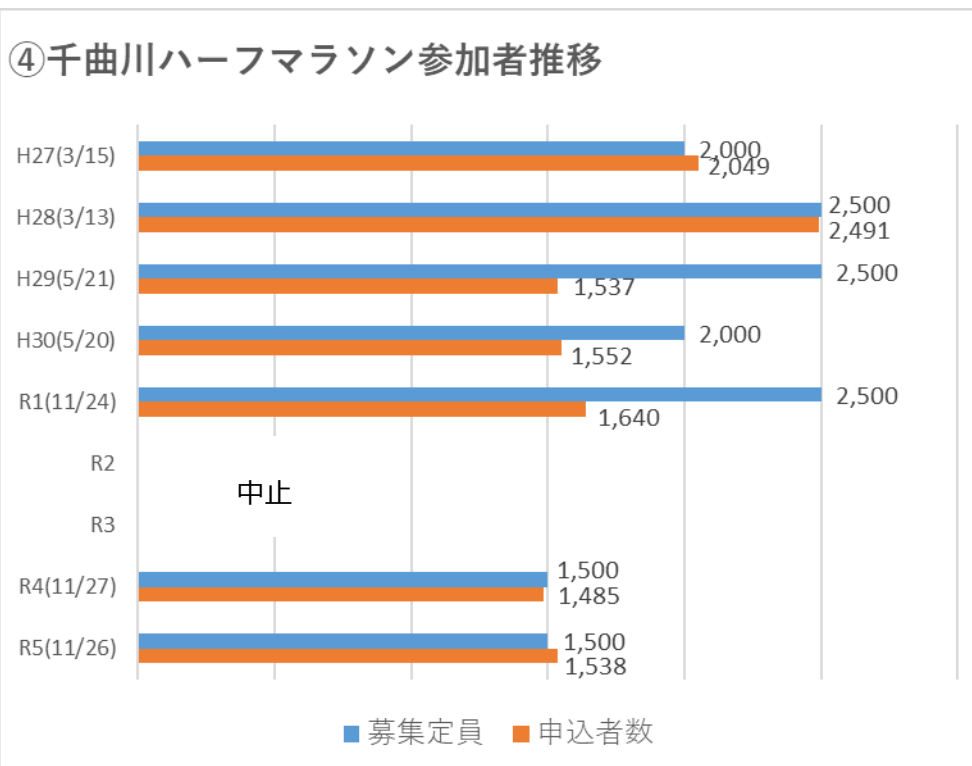
年代別では30代から60代の働く世代、子育て世代の実施率が低く、70代の比較的時間が取れる年代になると実施率が高くなっています。

30代から60代のスポーツを始めるきっかけやスポーツに参加しやすい環境づくりを図ることが課題となります。

4. スポーツ推進事業

千曲市スポーツ協会等関係団体やスポーツ推進委員等と連携し、市民体育祭等各種大会を開催するとともに、初心者等を対象としたスポーツ教室を開催しています。





※R1 は台風災害により直前中止。R2・3 は新型コロナウイルス感染拡大により中止

※R5 は新たに追加したファミリーマラソンの参加者も含む

市民体育祭等のスポーツ大会は、初心者からベテランまで気軽に参加することができる大会として千曲市スポーツ協会が主管となり開催しています。

令和2、3年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり参加者が減少していますが令和4年度から回復傾向になっています。

今後の大会開催については、スポーツ協会と連携し、市民のニーズを捉えた大会、教室の開催が必要となります。

5. スポーツ団体の組織と活動

①スポーツ推進委員

国のスポーツ基本法に基づき設置された千曲市スポーツ推進委員は、市民に対するスポーツの実技指導、市が行うスポーツ事業への協力など、市民のスポーツ振興のための活動を進めています。

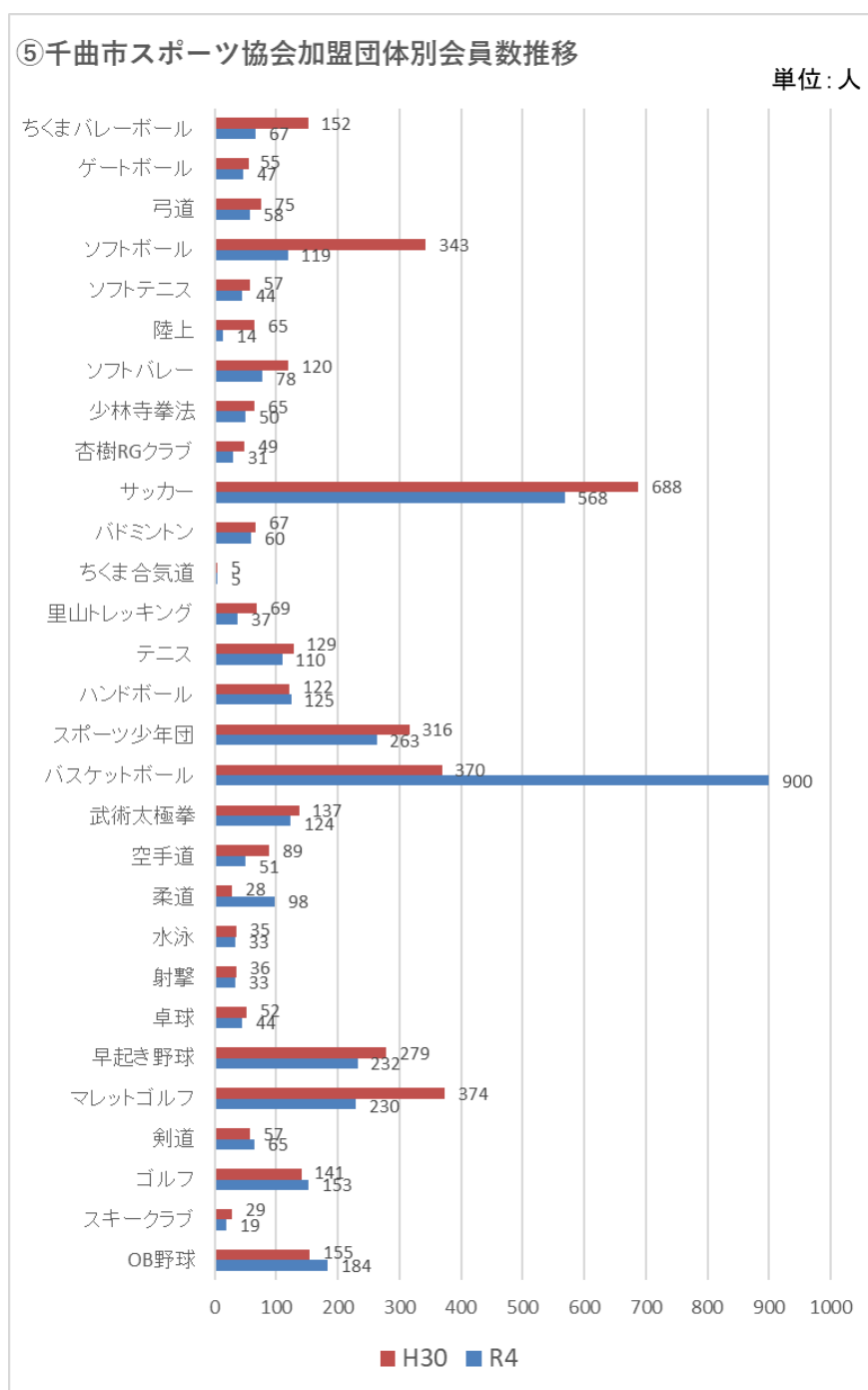
近年は、独自の事業として、ワンバウンドふらばーるバレー、ボッチャ体験教室などの新たなスポーツの普及や委員の活動を広く知っていただくための広報紙の発行に取り組んでいます。

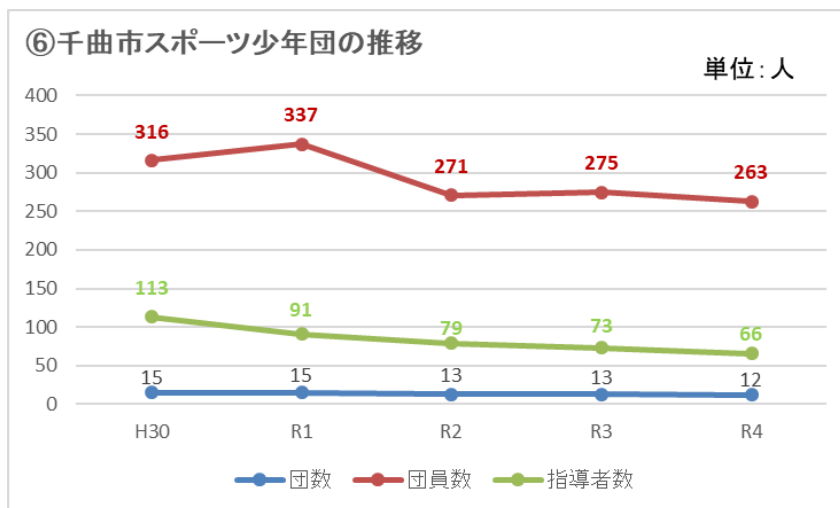
委員が市内各地域から選出されており、市民にとって身近な指導者であることを活かし、市民のスポーツ実施率向上に向けた、更なる啓発を図ります。

②千曲市スポーツ協会（特定非営利法人）

加盟団体は令和5年度現在30団体あり、市民体育祭等各種スポーツ大会を主催、主管しています。各スポーツ競技の競技力向上をはじめ、教室の開催などを通じて新規スポーツ実施者の窓口としても大きな役割を果たしています。

今後も、各競技団体の活動を拠点に、新規加盟者や団体の増加を図り、市民のスポーツの習慣化を目指すとともに、地域の活性化、地域コミュニケーションの醸成に資する新しい事業展開が期待されます。





6. 社会体育施設と利用状況

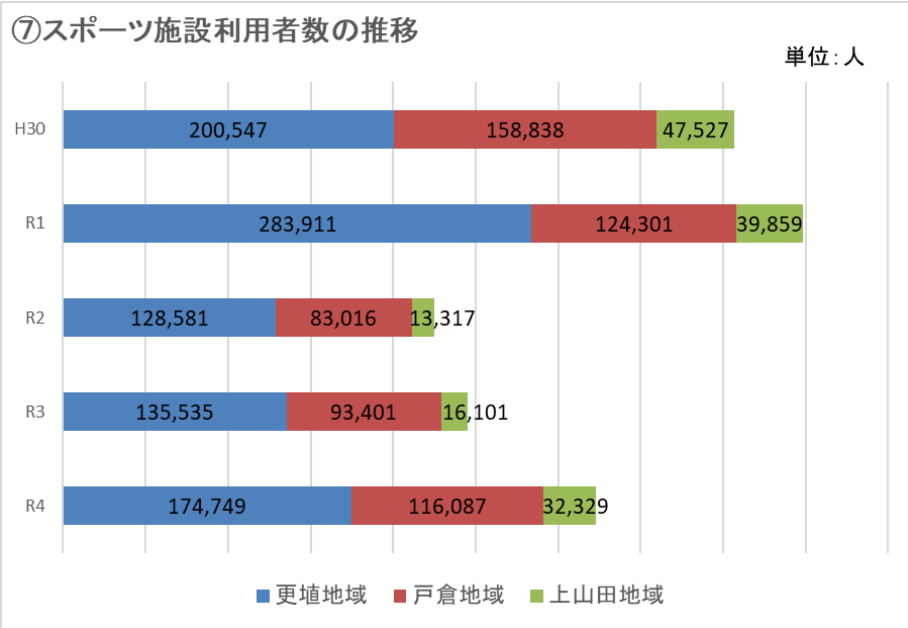
千曲市の社会体育施設の設置状況は、6 体育館をはじめ各種体育施設が整備され活発に利用されています。

また、高齢者に広く親しまれているマレットゴルフのコースや、地域の運動場が多く整備されている特色があると言えます。

運営方法としては、更埴地区 6 施設を指定管理制度により運営する以外は、市が直営体制により運営しておりますが、より合理的、経済的な運営方法について研究し、経費の節減などに努める必要があります。

■千曲市が管理するスポーツ施設数

施設の名称	設置数	
	H30	R4
体育館	6	6
柔道場（箇所）	2	2
剣道場（箇所）	2	2
野球グラウンド（面）	13	13
サッカー場（面）	3	4
テニスコート（面）	18	17
ゲートボール場（面）	17	9
マレットゴルフ場（ホール）	270	270
弓道場	1	1
地区広場	5	5
プール（箇所）	1	1
トレーニングルーム	1	1
陸上競技場	2	2



※台風災害、新型コロナウイルス感染拡大の影響により令和2.3年度は減少

■⑦の内訳

	H30	R1	R2	R3	R4
更埴地域	200,547	283,911	128,581	135,535	174,749
体育館アリーナ	96,283	113,724	62,539	66,538	70,582
体育館柔剣道場他	19,023	40,621	22,223	26,741	36,285
弓道場	4,058	4,397	2,728	206	790
テニスコート	16,144	14,780	11,693	11,035	13,470
グラウンド	16,784	28,645	12,125	17,077	28,055
ゲートボール	6,821	44,306	5,189	4,502	4,690
マレットゴルフ	19,315	15,788	12,084	9,436	9,278
市民プール	22,119	21,650	0	0	11,599

	H30	R1	R2	R3	R4
戸倉地域	158,838	124,301	83,016	93,401	116,087
体育館アリーナ	37,691	27,203	16,702	19,575	25,818
体育館柔剣道場他	9,426	8,747	8,336	7,804	9,666
トレーニング室	5,448	5,444	2,570	2,787	2,785
サッカー	55,009	48,058	38,935	38,205	48,207
テニスコート	9,598	4,839	2,452	1,898	2,243
グラウンド	28,281	25,258	8,377	14,240	16,341
ゲートボール	2,131	2,288	988	1,156	1,289
マレットゴルフ	11,254	2,464	4,656	7,736	9,738

	H30	R1	R2	R3	R4
上山田地域	47,527	39,859	13,317	16,101	32,329
体育館アリーナ	18,334	15,999	11,345	10,954	14,524
テニスコート	4,236	6,303	1,972	1,571	913
サッカー	6,974	3,582	0	1,951	5,875
グラウンド	12,145	8,162	0	1,625	9,530
マレットゴルフ	5,838	5,813	0	0	1,487

第3章 計画の基本的な考え方

1. 基本理念

スポーツを通じた心身の健康と活力あるまちづくり

市民一人一人が年齢や性別、障がいの有無にとらわれず、それぞれの適性や関心に
応じてスポーツを「する」「みる」「ささえる」のほか、「つくる／はぐくむ」「あ
つまり、ともに、つながる」「誰もがアクセスできる」というさまざまな形でスポー
ツに関わりが持てる環境を整備することが重要です。

スポーツ実施率を向上させ、日々の生活の中でスポーツの価値を享受できる社会の
構築を目指し、第三次千曲市総合計画の基本目標である「スポーツを通じた心身の健
康と活力あるまちづくり」を基本理念とします。

2. スポーツの価値

スポーツには様々な価値が存在します。心身の健康の保持増進にも重要な役割を果
たし、健康で活力に満ちた長寿社会の実現に不可欠です。

また、人と人、地域と地域との交流を促進し、地域の一体感や活力を醸成し地域社
会の再生に寄与します。

さらに、次世代を担う青少年の体力の向上、実践的な思考力や判断力を育む人格形
成に大きな影響を与えます。

スポーツを取り巻く環境は目的の多様化、競技技術の向上、プロスポーツの発展な
ど大きく変化してきています。

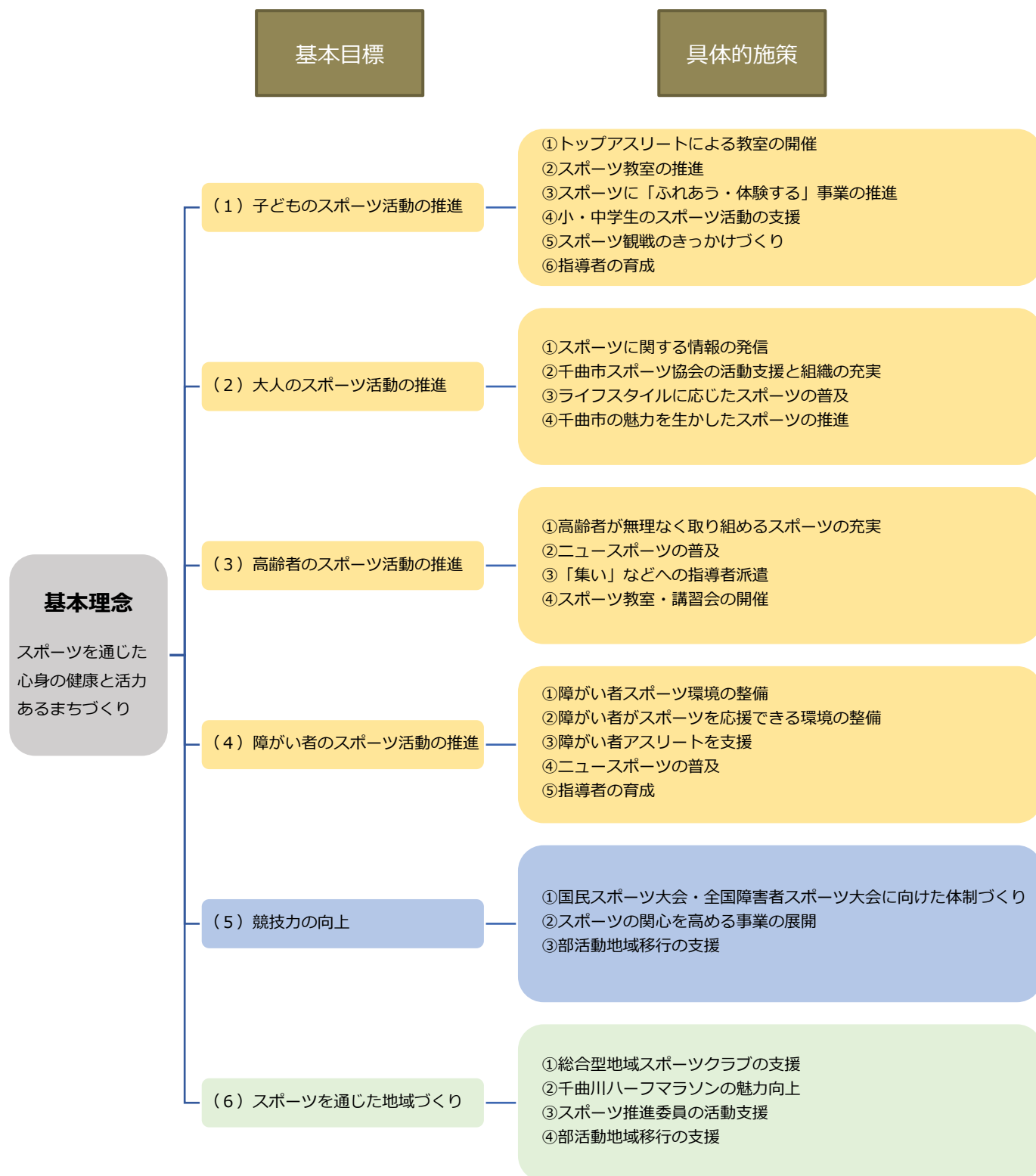
令和2年から拡大した新型コロナウイルス感染症はスポーツに大きな影響を与えま
した。スポーツイベント、競技大会等の中止や延期、日常のスポーツ活動が制限され
たことにより、体力の低下やストレスの増加、スポーツ交流不足など我々の日常生活
に多大な悪影響を及ぼしました。

一方その反面、スポーツが健康の維持増進、活力ある社会構築に必要不可欠である
ことを再認識することとなりました。

スポーツの価値をこれまで以上に高めていくため、様々な施策に取り組み、基本理
念の実現を目指します。

第4章 施策の展開

1. 計画の体系図



2. 基本目標

(1) 子どものスポーツ活動の推進

国が令和4年度に小学5年生、中学2年生を対象に実施した「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」において、体力合計点は全国、長野県共に令和元年度から減少傾向が続いています。

また、千曲市が令和5年度に市内小学生4～6年生、中学生全学年を対象に実施した運動・スポーツ活動に関するアンケート結果においても「いま何か運動やスポーツを、週に1回以上していますか（授業以外）」の回答は、小学生では68.9%で平成30年調査時と比較して4%減少、中学生は57.0%で8.6%減少しています。

子どものスポーツ活動は、身体を動かすことの楽しさやスポーツを「する」喜びを体験し、また運動後の体のケアの方法やその大切さを学ぶことを通じて、生涯にわたり積極的に運動・スポーツに親しむ習慣を養うことが大きな目的です。

スポーツが得意な子どもも、あまり得意でない子どもも、「する」「みる」「ささえる」と多様なスポーツとの関わり方があり、それぞれの子どもにあった形でスポーツの価値を享受できるよう、関係団体と連携を図りながら取り組みます。

■ 具体的施策

① トップアスリートによる教室の開催

子どもたちのスポーツに対する関心を高めるとともに、将来に向けた行動への動機付けを図るため、トップアスリートに直接触れ合うことのできる機会を提供します。

② スポーツ教室の推進

千曲市スポーツ協会と連携したスポーツ教室開催事業を進めます。

千曲市スポーツ協会が中心となり、ジュニア対象のスポーツ教室を開催していますが、開催時期、回数、会場や内容など、より一層子どもたちが参加しやすく充実した教室を目指します。

③ スポーツに「ふれあう・体験する」事業の推進

幼児を対象としたスポーツの楽しさを体験する事業を進めます。

様々な遊びの中で体を動かすことの楽しさや競技スポーツの楽しさを親子で遊びながら体験し、今後のスポーツ活動への導入となるようなスポーツ体験事業を実施します。

小・中学生の「学校授業にないスポーツ」体験事業を進めます。

県やプロスポーツチームと連携し交流事業を行い、スポーツの楽しさを体験してもらうと同時に体力の向上を図ります。

④ 小・中学生のスポーツ活動の支援

全国大会・ブロック大会等に出場した場合の補助金の支援等を積極的に行い、スポーツ活動に対する意識の高揚を図ります。

中学校の部活動地域移行に向けて、千曲坂城クラブ、学校、スポーツ協会、地域スポーツクラブ等との連携による環境づくりを支援します。

令和 10 年に長野県で開催される信州やまなみ国スポ、全障スポへの関心を高め、様々な形でのスポーツへの参加機会を増やし、スポーツの楽しさが得られるよう努めます。

⑤ スポーツ観戦のきっかけづくり

長野地域を活動拠点とするプロスポーツチームや県と連携し、トップレベルの試合を間近で観戦する機会を提供することで、スポーツへの興味、関心を高めます。

⑥ 指導者の育成

現在活動している指導者の更なる資質の向上に併せ、新たな指導者の育成を支援します。

スポーツを「ささえる」ことにより享受できる価値を、広く市民に周知します。

(2) 大人のスポーツ活動の推進

令和 5 年度千曲市アンケート調査では、「週 1 回以上スポーツをしていますか」の問いに対し、「している」と回答した人が 44.5%で、前年調査の 46.1%を下回りました。年代別では 30 代から 60 代の仕事をしている世代の実施率が低い傾向にあります。

また、実施種目ではウォーキング、ジョギング、体操、筋トレなど一人でも気軽に取り組むことができる種目の実施率が高くなっています。スポーツを生活の一部として取り入れることができるよう、最初の一步を踏み出すきっかけづくりを支援します。

スポーツは、余暇時間を有効に活用し生活に潤いをもたらすことに加え、健康の維持増進、活力ある社会構築に必要不可欠であり「自分の健康は自ら守る」という意識につながります。

本計画ではアンケート結果を踏まえ、競技スポーツのほか、ウォーキングやランニングなどに温泉などの千曲市の魅力を加え、スポーツをライフスタイルに取り入れることを提唱し、成人の週 1 回以上のスポーツ実施率を令和 10 年度までに 65%以上にすることを目標とします。

■ 具体的施策

① スポーツに関する情報の発信

市報、ホームページの充実や、SNSの積極的な活用を通じて、千曲市スポーツ協会や千曲市スポーツ推進委員などによるスポーツに関する情報の発信を支援するなど、あらゆる市民に情報を届ける工夫を行います。

市民の関心が高いウォーキングなどについては、コースの紹介など始めるきっかけづくりを後押しします。

令和10年の信州やまなみスポ、全障スポの開催気運を活用し、スポーツを「みる」習慣化、スポーツを「ささえる」人口の拡大を図ります。

② 千曲市スポーツ協会の活動支援と組織の充実

千曲市スポーツ協会や協会加盟団体が実施する大会、スポーツ教室等に対し、補助金などを通じて支援します。

千曲市スポーツ協会加盟団体への新規加入者増を図るため、活動メニューの魅力アップや活動内容の周知等を支援します。

③ ライフスタイルに応じたスポーツの普及

スポーツ関係団体やスポーツ推進委員会等と連携し健康づくりや体力向上につながる講習会、気軽に取り組めるニュースポーツの講習会やイベントを開催し、スポーツの面白さや楽しさを知ってもらう機会を作ります。

働く世代の健康増進を図るため、企業等と連携しスポーツ機会の充実と健診、保健指導の際の意識啓発を推進します。

④ 千曲市の魅力を生かしたスポーツの推進

温泉とランニングを気軽に楽しめる「千曲ラン」を、千曲市ならではのライフスタイルとして市民にPRし、参加者の拡大を図ります。

千曲ランの趣旨を日帰り温泉事業者に広く周知し、協力事業者の増加を図ります。

（３）高齢者のスポーツ活動の推進

令和５年度に実施したアンケート調査では、70歳以上の運動実施率が高い傾向にあることがわかりました。超高齢社会に突入している現代において、高齢者にとってスポーツ活動は健康の維持増進には必要不可欠であり、大変重要な役割を果たします。

千曲市においても今後更なる高齢者の人口増加が見込まれていることから、より積極的に取り組む必要があります。

地域に多くの元気な高齢者がいてくれることは、地域活性化に直結します。寝たきりの予防、高齢期の生きがいづくりを目指し、地域の人々とふれあいながら実施できる運動、スポーツ活動を推進します。

また、温泉施設やマレットゴルフなど高齢者の関心が高い施設等を有効に活用した事業を展開する一方、年代を超え、若年のスポーツと思われるものへも積極的に挑戦できる体制を整えます。

■ 具体的施策

① 高齢者が無理なく取り組めるスポーツの充実

生きがいづくりや介護予防の観点からも、高齢期におけるスポーツ活動が積極的に取り組まれるよう、健康福祉部局と連携しながら支援します。

スポーツイベントの開催やスポーツボランティア活動に関する情報の提供など、「みる」「ささえる」きっかけづくりを積極的に行います。

体力的な理由等によりスポーツをすることが困難な高齢者もスポーツ観戦やボランティアへの参加などスポーツに関われる機会を増やすよう努めます。

② ニュースポーツの普及

室内でも気軽にできるニュースポーツを紹介し、地域の高齢者が地域で楽しく体を動かせるスポーツを紹介するとともに、スポーツを通じて楽しく集える機会を増やすことに努めます。

③ 「集い」などへの指導者派遣

高齢者の集まる「寄り合い」などでは、短時間でも楽しんで行える体操の時間を設けることを提唱し、指導者の派遣を行います。

高齢者対象の出前講座などの要請に、応えられる体制づくりを行います。

④ スポーツ教室・講習会の開催

総合型地域スポーツクラブやスポーツ団体と連携し、高齢者に人気のスポーツ種目に加え、取り組みやすい種目の教室を開催します。

（４）障がい者のスポーツ活動の推進

障がい者のスポーツ活動は運動機能の維持向上、自主的な社会参加を促進し、生きがいのある生活を送るために必要です。

関係機関と連携し、それぞれの体力や健康状態に応じたスポーツに取り組む機会や環境づくりを推進し、楽しく体を動かせる機会の充実を図ります。

また、令和１０年に長野県で開催される信州やまなみ国スポと併せ開催される全障スポで千曲市がボッチャの会場として決定していることから、積極的な情報発信と気運の醸成を図ります。

■ 具体的施策

① 障がい者スポーツ環境の整備

長野県障がい者福祉センター「サンアップル」、健康福祉部局、スポーツ推進委員等と連携し、障がい者が適性や目的に応じ気軽にスポーツを楽しむことができる場を提供することで障がい者スポーツの普及を図ります。

② 障がい者がスポーツを応援できる環境の整備

千曲川ハーフマラソンなどのスポーツイベントにおいて、障がい者もボランティアスタッフとして携わることができるような環境を整備し、スポーツを「みる」「ささえる」きっかけをつくります。

③ 障がい者アスリートを支援

競技としての障がい者スポーツにおいて、高いレベルを目指す選手を支援します。

④ ニュースポーツの普及

障がい者が楽しめるニュースポーツを関係機関と研究し、スポーツを通じて楽しく集える機会を増やすことに努めます。

⑤ 指導者の育成

サポートスタッフの講習会を開催し、適切なアドバイスや指導ができる人材を育成します。

(5) 競技力の向上

地元出身の選手が世界や全国の舞台で活躍することは誇りとなり、まちに活気を与え地域の活性化に繋がります。

活力あるまちを実現するため、千曲市スポーツ協会やスポーツ関係団体と連携し競技力の向上を図ります。

また、国が進める部活動地域移行への取組も関係部局と連携し、子どもたちがスポーツに取り組みやすい環境を目指します。

令和 10 年に長野県で開催される信州やまなみ国スポ、全障スポでは、当市においてハンドボール、体操（新体操）、ボッチャ競技が開催されることから、情報発信を積極的に行い、気運を高めると共に運営体制づくりに努めます。

■ 具体的施策

① 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会に向けた体制づくり

情報を積極的に配信し市民の認知向上を図ります。

長野県やスポーツ協会等関係団体と連携し運営体制の構築に努めます。

開催気運を活用し、スポーツを「みる」習慣化、「ささえる」人口拡大を図ります。

② スポーツの関心を高める事業の展開

トップアスリートによる教室を開催し、子どもたちのスポーツに対する関心を高めるとともに、将来に向けた行動への動機付けを図るため、トップアスリートに直接触れ合うことのできる機会を提供します。

③ 部活動地域移行の支援

国が推進している中学校部活動地域移行に千曲坂城クラブとして先進的に取り組んでいることから、社会体育施設の有効活用、指導者の発掘、育成など教育部関係機関と連携しより一層の推進を図ります。

(6) スポーツを通じた地域づくり

地域におけるスポーツ活動は、人と人、地域と地域との交流を促進し、地域の一体感や活力を醸成し地域社会の再生に寄与します。

人口減少、少子高齢化が進む現代において、子どものニーズの多様化や教員の業務負担の改善などを理由に国が推進している部活動地域移行に千曲市・坂城町で設立した千曲坂城クラブとして先進的に取り組んでおり、令和8年度の休日、平日の完全移行に向け、今後よりいっそう地域とのつながりが重要になります。

世代を超えた繋がりや地域の活性化を目指し、関係機関と連携し取り組みを実施します。

また、市内外の人々とのスポーツによる交流やスポーツツーリズムの展開による地域の賑わいや発展につながるようなイベントや大会を開催します。

■ 具体的施策

① 総合型地域スポーツクラブの支援

県スポーツ協会と連携し、地域スポーツ推進の重要な役割を担う総合型地域スポーツクラブの運営を支援します。

② 千曲川ハーフマラソンの魅力向上

健康増進のためジョギングに取り組む市民の目標となる大会となるよう、千曲ランと連携し周知を図ります。

市外からの参加者増をめざし、大会の魅力を高めていきます。特に戸倉上山田温泉関係団体との連携を深め、温泉とスポーツをセットで楽しむことができる大会として情報発信に努めます。

③ スポーツ推進委員の活動支援

学校、地域、スポーツ団体等の地域スポーツ推進の橋渡し役として重要な役割を担っていることから、県と連携し研修会への積極的な参加をすることで資質向上を図ります。

④ 部活動地域移行の支援

国が推進している中学校部活動地域移行に先進的に取り組んでいることから、社会体育施設の有効活用、指導者の発掘、育成など教育部関係機関と連携し推進を図ります。

3. 数値目標

第三次千曲市スポーツ推進基本計画の基本理念である「スポーツを通じた心身の健康と活力あるまちづくり」の達成度を示す指標として、以下の項目を数値目標とします。

No.	指 標 名		基準値 (令和 5 年度)	目標値 (令和 10 年度)	備考（根拠等）
1	成人のスポーツ実施率（週 1 回以上）		44.5%	65%	・第三次千曲市総合計画 ・第二次千曲市教育振興基本計画（後期計画） ・スポーツ実施状況に関するアンケート
2	子どものスポーツ実施率 （週 1 回以上）※授業以外	小学生	68.9%	85%	・第二次千曲市教育振興基本計画（後期計画） 「千曲っ子教育ビジョン」 ・運動・スポーツ活動に関するアンケート
		中学生	57.0%	70%	
3	千曲川ハーフマラソンのエントリー数		1,538 人	2,000 人	・第三次千曲市総合計画 ・第二次千曲市教育振興基本計画（後期計画）

第5章 スポーツ施設・環境の整備と充実

平成30年度に完成した更埴体育館（ことぶきアリーナ千曲）は、市民にスポーツ活動の場を提供するという本来の機能に加えて、プロスポーツチームのホームゲームが行われる施設としての役割も担っています。

スポーツを「する」「みる」「ささえる」の3つすべてが交わる千曲市のスポーツ振興における拠点として、スポーツの価値を市内外に広く発信していく役割が期待されています。

また、戸倉体育館周辺にはサッカー場、野球場、テニスコートなどがあり、上山田萬葉の里スポーツエリアや大西緑地公園には野球グラウンドやマレットゴルフコースが整備されるなど、市内各所の体育施設が多くの市民に利用されています。

また、戸倉上山田温泉を中心として、市外県外から合宿などで多くの人が訪れており、千曲川ハーフマラソンなどスポーツツーリズムによる温泉とスポーツの組み合わせは千曲市のおおきな魅力であると言えます。

しかし、施設の中には老朽化が進み改修や修繕を必要とする箇所が多いことから、公共施設再編計画等とバランスを図りながら、適切に維持管理を行います。

■ 具体的施策

1. 料金体系の見直し

体育施設の運営方法について、利用者の観点から適切であるか検討し、必要な見直しを行います。また、使用料については、「受益者負担」の考え方を基本とし、他の公共施設等の状況も踏まえ市全体として検討し、適切な使用料を設定します。

2. 市民協働の推進

地域に密着した体育施設の維持管理を、利用者や地域住民と一緒に担い、協働による効果的な施設運営を進めます。

3. 施設の改修・設備の充実

老朽化した施設の改修、修繕や設備の充実を計画的に進めるなど、利用者の利便を図り、子どもや女性、高齢者、障がい者を含む全ての地域住民が安全で快適にスポーツに親しめる環境づくりを進めます。

備品等については定期的に点検を行い、必要な備品の確保に努める一方、使えるものは極力補修などを行い、経費の節減に努めます。

4. 学校体育施設の有効活用

市内小中学校の体育施設は、学校行事に支障をきたさない範囲で最大限の有効活用を図ります。

5. 指定管理者制度の導入

指定管理者制度を導入することによって、施設管理やサービスの向上が図られる施設については、移行を進めます。

6. 新たな施設の建設

総合運動公園基本構想を推進します。

老朽化が進んでいる戸倉体育館は、野球場建設などを含む総合運動公園の実現に向けた早期の整備に努めます。

7. スポーツ施設の合理的な設置

現在、設置されている体育施設について、利用の少ない施設や、設置効果の低い施設については見直しを行い、合理的でかつ経済的な施設設置を目指します。